



経済・府政記者クラブ同時資料配付
京都労働局発表
令和3年10月29日(金)

担 当	職業安定部職業安定課
	課長 中島 宏之
	課長補佐 桐田 徹
	電話 075-241-3268 (ダイヤル)

ハローワークのマッチング機能に関する業務の 総合評価の結果について（令和2年度分）

～4箇所のハローワークで「良好な成果」と評価されました！～

平成27年4月から全国のハローワークにおいて、「マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組」を実施しています。

今般、令和2年度における京都労働局管内各ハローワークの総合評価の結果につきまして厚生労働省本省から通知があり、その内容は次のとおりとなりました。

評価結果を踏まえ、求人者と求職者のマッチング業務の更なる強化に取り組み、ハローワークを利用される地域の方々から「信頼いただけるハローワーク」となるよう努めてまいります。

	非常に良好な成果	良好な成果	標準的な成果	成果向上のための計画的な取組が必要
令和2年度	該当ハローワークなし	ハローワーク京都七条 ハローワーク伏見 ハローワーク福知山 ハローワーク舞鶴	ハローワーク西陣 ハローワーク宇治 ハローワーク京都田辺 ハローワーク峰山	該当ハローワークなし

※令和2年度の総合評価の結果については、新型コロナウイルス感染症の影響下での結果であることにご留意いただきますよう、お願いします。

※ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組の実施目的について
各ハローワークの「強み」や「弱み」を見える化し、効果的な業務改善を継続的に行っていくとともに、マッチング業務の成果や評価結果、業務改善の状況等を公表することにより、透明性を高め、ハローワークに対する信頼感の向上を図ることを目的として実施しています。

※総合評価における評価方法について

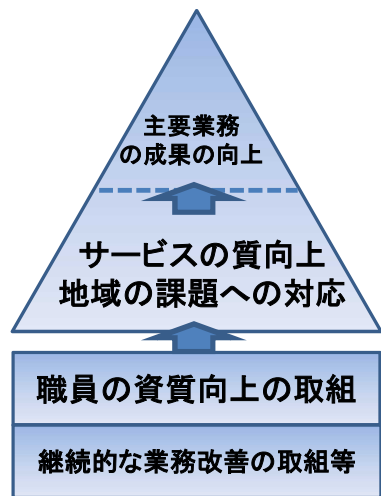
労働市場の状況や業務量が同程度の全国のハローワークをグループに分け、ハローワークごとに評価指標の実績を点数化し、4段階の相対評価を行います。

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）


ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 現行の取組（就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、業務の質の指標を追加。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表
→ 主要指標の実績を毎月、総合評価を年度終了後に公表
- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
→ 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。
 重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
 - ① 評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ② 改善計画を作成、本省・労働局が重点指導（評価期間終了後）
 - ③ 好事例は全国展開（評価期間終了後）
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催